

## 補正予算質疑

議案第53号令和3年度館山市一般会計補正予算(9号)歳出について質疑を行いましたので、その内容についてお知らせします。

### 【1】食のまちづくり拠点施設整備事業に伴う実証実験に関して(予算額950万円、全額国費)

令和5年度に開業予定の食のまちづくり拠点施設・道の駅のハード整備の推進と並行し、ソフト面で観光誘客に資するコンテンツを掘り起こして磨き上げることを目的として、今回の観光庁の実証事業に取り組む。施設の開業・運営にあたっては、農産物を始めとした地場産品の地域内流通システムの構築とともに、観光コンテンツの磨き上げによる市内への観光誘客がたいへん重要と考えており、以下の5つのプロジェクトを計画している。

#### ① 館山産ジビエのブランド化

10月中旬に『館山ジビエ磨き上げチーム』を立ち上げ、定期的に企画検討会を開催し、これと平行して、ジビエ料理の開発に取組み、年明けの1月中にはジビエ料理の試食会を開催したいと考えている。

#### ② 観光定置網漁船上見学と朝食セットの商品開発

2月末までに定置網漁の状況整理や連携先との調整、ツアー企画の検討などを予定している。

#### ③ 館山農業の磨き上げ・館山生まれの特産品開発

10月中旬に『館山農業磨き上げチーム』を立ち上げ、定期的に企画検討会を開催するとともに、2月には農業モニター体験会を開催したいと考えている。また、都市部企業を対象としたお米オーナー事業の企画検討を実施するとともに、特産品開発として、女性ファンの多いバラを活用したコスメ系商品やリキュールなどの加工品開発に取組み、本事業終了時までに最低一商品の試作品の開発を目指す。

#### ④ ロケツーリズムによる地域活性化

ドラマやバラエティーなどのロケが近年たいへん多くなっており、館山市の魅力をもっとテレビなどのメディアで広くアピールするための取組みであり、そのための人材育成事業とロケ地を巡るマップなどの市内周遊ツールの作成について、2月末までの事業期間を通して実施する。

#### ⑤ 館山ブランド認証制度の設計

10月中旬より館山ブランド認証基準の検討に着手し、2月中旬には認証基準や認証ロゴ案の完成、事業期間内にブランド認証会の試験開催を計画している。

アフターコロナにおける観光復興に関する国の助成メニューは、今回の実証事業も含め、昨年度より今年度にかけて国費100パーセントの事業募集が続いており、今後も実際に事業を実施する場合には、国等からの補助を利用できるよう、今後も事業採択を目指す。また、設備や資機材などのイニシャルコストに関する補助についても、有効な情報をキャッチするために常にアンテナを高くし、活用できるものがあれば果敢に事業採択にチャレンジをしていく。

### 【2】中小企業等事業継続支援給付金に関して(予算額3,574万円、約70%が国県補助)

給付対象となる事業者数については、館山市内の小規模事業者数のうち、概ね1割が対象となる見込みであり、給付対象事業者数を170件と想定している。給付額については、令和3年4月から8月までのいずれかひと月の売上と、令和元年または令和2年の同月の売上と比較し、その減少額が100万円未満の場合は10万円、200万円未満の場合は20万円、200万円以上の場合は30万円を給付する。計上した予算額を超える申請があった場合は状況に応じて検討していく。

## 終わりに



全国の新型コロナの新規感染者は、8月20日に過去最大となる25,866人が確認されましたが、その後は減少傾向が続き、10月11日には369人と今年に入ってから最も少なく(千葉県内は25人)、また、1日あたりの感染者が300人台となるのは昨年10月以来となり、少しずつではありますが、これまでの日常へと戻り始めています。最大の要因としては、国内における1回目のワクチンの接種率が約68%、

2回目が約59%と上がってきたことが挙げられます。しかしながら、これからウイルスが発達化する冬に向け、第6波や季節性インフルエンザの流行が危惧されていますので、予防対策を徹底し、少しでも感染リスクを減らすような生活様式・行動に努めていきましょう!!

今議会では「新型コロナウイルス感染症対策」について取り上げましたが、これからも皆さまからのご意見・ご提案を伺い、館山市の抱える様々な問題や課題の解決へ向け、議員活動を通して粘り強く要望・提案をして参ります。今後とも温かいご支援とご指導をよろしく願います。